

人材難



渡島医師会
望ヶ丘医院

田中 慈雄

先日、当院の介護療養病棟に勤務していた若者が退職した。19歳で当院に就職する前は、ホテルで1年、焼肉店で3ヶ月の職歴で、介護業務の経験はなく、病棟主任が一から教え込んだ。笑顔のかわいい子であったが、指示したこと以外はできない子だった。前職のホテルや焼肉店は噂では厳しい職場だったようで、うちはわりとゆるい職場だから大丈夫だろうと思い、本採用に至った。月日は経ち、どこに何があるかとか、一日の仕事の流れなどは覚えたが、指示されたこと以外を積極的にやる子ではなく、仕事の力量も上達した感じもなく、本人もスキルアップを目指してこれをしたい、というような意欲もなかった。本人と話をしても、将来どうしたい、何を目指したい、というようなビジョンはなく、まあ、何となく生きている、というような感じで、頭の固いアラフィフの私は大きな違和感を持った。

石の上にも3年と言うが、採用から4年が経ち、人当たりの良い子なので、介護業務は向いているのではないかと考えているのではないかと、と思った矢先に出た退職願。介護業界は人手が足りず、どこからか良い給料で誘われたか、まあそれならばしょうがない、うちを土台にして本人のスキルになれば、とも思ったが、転職先は運送業とのこと。運送業も人手不足で条件は良いようだが、うちでの4年は何だったのか、と思うと脱力感が強い。病棟主任は、4年でほとんど上達のなかったこの若者に対してあまり未練はなく、強く慰留することもなかったようだが、それから、当院でも現実を知ることになった。職員募集をかけても応募が無い。やっと採用した35歳の男性は、3週間で出勤してこなくなった（家族によれば、以前の職場も同様の辞め方だったとのこと）。今では、欠勤することなく、笑顔もあったその若者は優秀な人材だったのでは？とまでも思っている、とのこと。

建設、運輸、サービス、医療介護等、さまざまなところで人手不足だと聞く。先日、東京に行った際、銀座の有名な老舗の洋食屋さんで、コック募集の張り紙が出ていた。このようなお店は修行にくる人は断つてもいるのではないかと考えていたが、そうではないらしい。居酒屋はどこでもトイレの目に付く所にスタッフ募集の張り紙がある。トイレが最も張り紙を読んでもくれる所と考えてのことか。読むこと

に関しては効果的だが、成果がないのか、いつまでも貼ってある。

私が産業医をしている半導体の製造工場では、人手不足を解消するために独自にフィリピンから40名の若者を採用した。小さな町に40名の外国人が一気に増え、ゴミの出し方で多少のトラブルはあったようだが、まじめな子たちで、今のところ大きな問題もなく、周囲の人たちからも可愛がられているとのこと。健康面で何かあったらお願いします、とされているので、私もフィリピンの言葉（タガログ語）で、マガンダンアラウ（こんにちは）、クムスタカ（元気ですか）、オーケイラン（大丈夫）、パラムナ（さようなら）を覚えて、さあこい、と待ちかまえていたが、来日して半年で、こんにちは、と診察室に入ってきて、さようなら、と帰っていくまで、私はタガログ語はおろか、英語も話してはいない。この会社はどのようにしてこのような真面目な子を採用できているのか分からないが、人手不足問題の解決策の1つかもしれないと思い始めた。

今のところ、外国人介護職受け入れはそう簡単ではないらしい。超大手の事業所では受け入れ可能であるようだが、小さな事業所では難しいらしい。日本人がやらなくなった仕事を外国人に任せて良いのか、は議論のあるところだと思うが、人材がなければ当面増えてくるであろう介護を要する人たちのお世話をすることができなくなる。業種間での人材の奪い合いにより、人件費の高騰も問題になる。

運輸大手のヤマト運輸は運送料を値上げするそうだが、医療介護保険事業の報酬は上がるどころか下がる一方で、来年の同時改定も既にマイナス改定の話が出ていて頭が痛い。介護職員処遇改善加算などというものにも手を出しているが、介護職員だけの加算はその場しのぎの付け焼き刃の片手間な手法と思う。

介護の仕事は若者のイメージも悪いらしい。何の理由もなく「介護っておしゃれだよ」というようなイメージを若者に植え付けるにはどうしたらよいか。介護の仕事に擬人化したゲーム？ 刀や戦艦が擬人化する時代だから、あり得るかも。スーパーイケメンが扮するスーパーケアワーカーが、難題を次々と解決するドラマ？ そんなので良いんですか？ いいんでないかい。笑顔があれば優秀な若者だ、なんて思えるのですから。